

第45期第1回全日本民医連 代表看護管理者会議

国に対する看護職養成 の要請運動を通して

2023. 1. 31 (火)

公益社団法人山梨勤労者医療協会
共立高等看護学院 河西光子



コロナ前臨地実習で患者さんとの車いす散歩

はじめに

2020年3月、コロナの感染拡大とともに全国の看護学生の学ぶ環境、生活は大きく変化した。

3年前より全日本民医連とともに、全国の民医連の看護学校、看護学生がつながり、3年間要請行動に取り組んできた。

要請行動のひとつは「コロナ禍における看護師国家試験においてコロナ陽性者になった場合の追試験実施」

もうひとつは、「看護学生の生活困窮に対しての学生支援緊急給付金の復活」を求めた要請である。

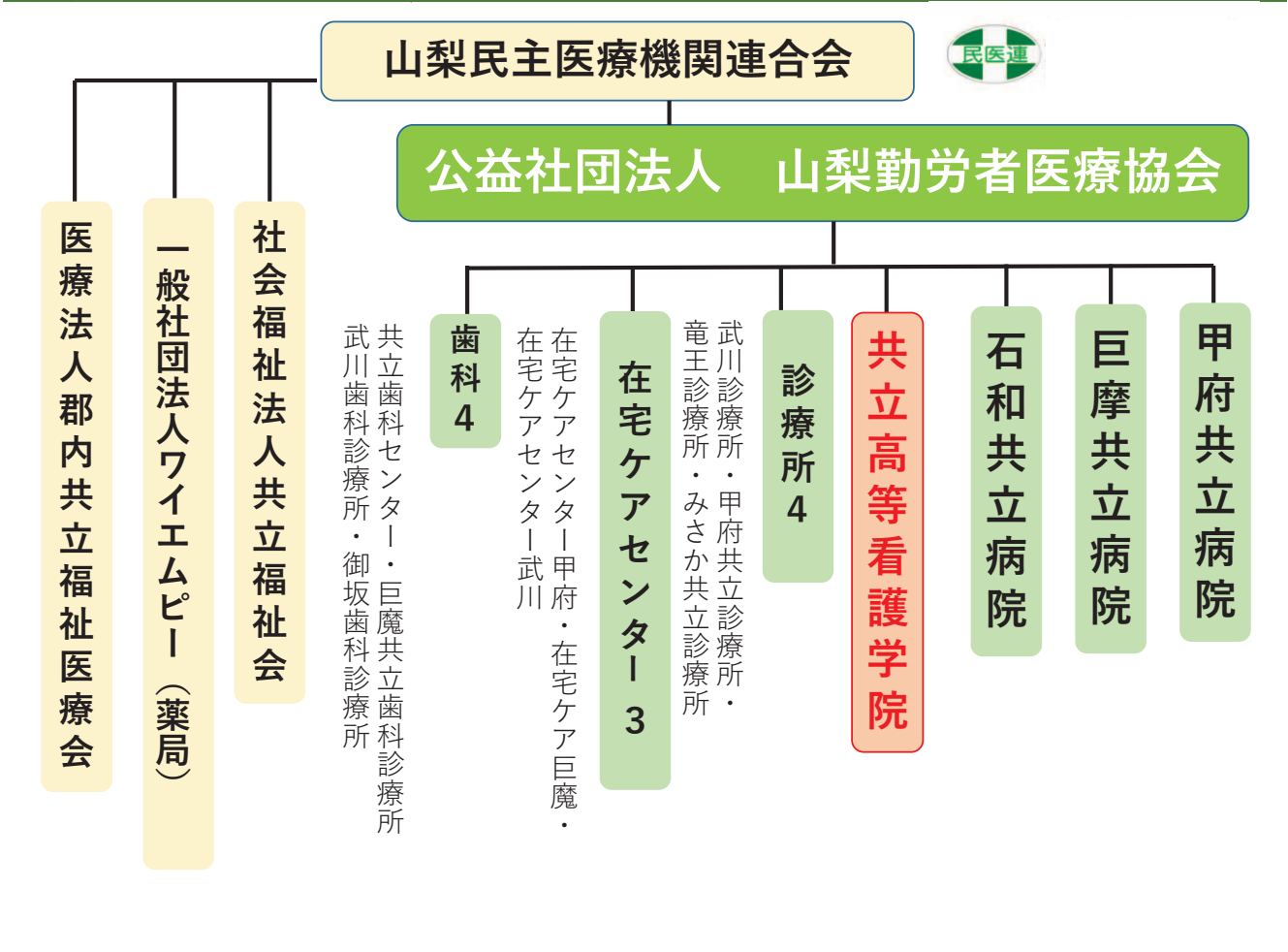
国また報道機関に対して世論に訴え続けてきた看護学生達が自分の言葉で国へ要望し、報道機関でも大きく取り上げられ世論への訴えかけが大きくなうねりとなった。

要請行動を通して、学生の成長とこれからの活動の課題について報告したい。



コゲントリ

最初に 共立高等看護学院の紹介



共立高等看護学院の所在地



- ◆県内には看護学部をもつ大学3校、看護養成所4校

- ## ◆ 18歳人口の減少が著しい山梨

2023年約7300人、5年前より1000人減。

2030年までに18歳人口20%以上減少するといわれる山梨県

(リクルート総研)

学生確保は優先課題

共立高等看護学院の学校運営・教育活動

<歴史> 創立44周年

- 1967年 准看護学院を開設
- 1975年 共立高等看護学院（2年課程）開設
- 1979年 共立高等看護学院（3年課程）開設

1学年40名 全校120名
これまでに1400名弱の看護師を育成

共立高等看護学院
ホームページ



こちらからどうぞ

<教育目標>

- 1) 患者や地域住民の立場にたつ看護を実践するための患者観・医療観・社会観が考えられる
- 2) 看護職としての倫理観をもち科学的根拠に基づいた看護実践力を身に着ける
- 3) 看護実践者として多用な価値観を認め自分や仲間が尊重できる
- 4) 患者や地域住民が望む暮らしの実現に向け、多職種と共同しながら看護師として主体的・創造的に看護実践する力をつける。

共立高等看護学院の学校運営・教育活動



共立高等看護学院の学校運営・教育活動

1) 多様な価値観を受け入れる風土と環境

①学生の組織運営を支援

- ・学校共催の行事（球技大会・学院祭）
- ・戴帽式は実行委員会形式での運営
民主的な話し合いの方法を支援
多様な意見を尊重

②学習困難の学生へ粘り強い個別学習支援

③LGDBに対応した環境

- ・多目的トイレの設置
- ・ユニセックスのユニフォームの導入
- ・更衣室の仕切りカーテン設置
(2016年～)

男女更衣室にそれぞれ仕切りカーテン



誰でも使用する多目的トイレ

共立高等看護学院の学校運営・教育活動

2) 学生自治会の主体的な活動への支援

<要望に対する回答書>

2021年5月11日

①自治会活動の運営を支援する

- ・立ち合い演説会
- ・自治会総会の運営
- ・会計処理

②原水禁世界大会派遣

- ・近隣のカンパ活動
- ・報告会の開催支援

③学校との懇談（要望書への回答）

<実現した内容>

開校時間の延長7:30～20:00

駐輪場の増設など

しかし、自治会活動は学校の後押し
がないと主体的な動きになりきれない
・・・コロナ禍更に危うい

共立高等看護学院 学生自治会
会長 渡辺 竜市 殿

共立高等看護学院
学院長 内藤 恵一

日々学業に専念し、多くの活動に取り組まれている学生の皆さんに心から敬意を表します。
さて、「学生から学院への要望について」（2021年3月11日付）におきまして、共立高等看護学院
に提出された貴会からの要望につきまして、以下の通り回答致します。今の時点で具体的且つ詳細に
及んで回答できないものについては基本的な考え方をお伝えし、引き続き協議したいと考えます。

1. 「4階トイレの扉の修繕」について
春休み中にすべてのトイレの改修工事を行いました。扉も新しいものに取り替えました。
2. 「加湿空気清浄機の設置」について
加湿器については、過去に設置していたようです。2020年度も設置について管理部でも検討しま
したが、以下の点から見送りました。
① 空気清浄機能で新型コロナウイルスを殺菌できるという科学的な根拠がない。
② 加湿器の管理をしっかりとしないと雑菌が繁殖してしまうため衛生上問題がある。誰がどのよ
うに管理していくのが課題。
③ 常時換気が推奨されているので、空気清浄よりもしっかりと換気することが大事ではないか。

学生の皆さんと一緒に機器の管理方法等を検討していきながら、課題の解決方法を導き出すこと
ができれば設置の検討を行いたいと思います。

3. 「トイレの手洗い場にお湯が出るように」
冬期の寒い時期には学生の皆さんにご不便をおかけして大変申し訳ありません。学校としても何
とかならないか業者にも相談しました。結論から言いますと「学校内にお湯を供給する装置（ボイラ
ー等）がなく、大掛かりな改修工事が必要」であり、早急な対応は困難です。簡易的な電気給湯シ
ステムの設置も検討しましたが、以下の点から設置が容易ではありません。
① トイレ手洗い場付近にコンセントの設置が必要。
また大量の電力が必要なため、電気工事及び維持費に多額の費用がかかる。
② トイレの手洗い場に簡易給湯器を置くスペースがない。
③ ガスの給湯機を設置するには大掛かりなガスの配管工事が必要で多額の工事費用がかかる。
本校としても学生の皆さんに御不便をお掛けしていることに対し申し訳ない気持ちですが、上記

これまでの看護学生の要請行動と活動

- 2021.2 **ANN(abeam moning)NEWS** テレビ朝日社会部取材
「未来の医療を支える看護学生試験控え二重の不安」放映
※東葛看護専門学校、共立高等看護学院3年生が各1名取材
MBSNES 「看護師の国家試験はコロナ感染でも追試なし」・
※近畿看護専門学校3年生1名取材
- 2021.3.8 **NHK甲府局** コロナ禍の看護学生、臨地実習ができず卒業
※共立高等看護学院3年生1名取材
- 2021.3.5～27 全日本民医連「新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査」
- 2021.5.28 厚労省・文科省WEBレクチャー 看護養成所事務長・副学院長等
コロナ禍における看護学生支援、国の政策状況について
- 2021.6.21 コロナ禍で看護職を目指す学生への緊急支援給付金の復活と看護師養成校へ
必要な支援を求める要請 文科省・厚労省
- 2021.12.1 文科省・厚労省 コロナ禍で看護職を目指す学生へ支援給付金復活を求め
る要請
看護学生からの訴え 東葛看護専門学校24期自治会



これまでの看護学生の要請行動と活動

- 2022.2.8 厚労省 医師・看護師などの国家試験追試を求める要請
全国の看護学生が訴え 共立高等看護学院3年生発言

マスコミ取
材が4社

1月～2月はマスコミの取材要請が続いた。
学生達はひとつ返事で取材に応じた。

TBS News23取材・1月27日放映 ※共立高等看護学院3年生4名が取材
山梨日日新聞取材・記事
朝日新聞取材・記事
日経新聞取材・記事



これまでの看護学生の要請行動と活動

2022.3.11

看護学生WEB交流 要請行動をした看護学生の経験交流

全国の看護学生 52 名が交流 教職員 23 名 全日本 5 名 計 80 名

要請行動をした看護学生からの活動報告（東葛 3 名、共立 3 名）

14G（1G 5～6 人）に分かれ、活動の感想や普段、気になっていることを話して交流（1 時間 30 分）

本校の活動報告した学生のひとり

自分は普段人前で話すことが苦手。バイト先に人から新聞見たことをいわれた（活動の反響を実感）

< 感想 >

声をあげている姿がかっこいい

実習中の辛さ自分だけでないと励みになった

先輩から活動をひきつぎたい

声に出しても変わらないと思っていたが・・・今の現状を知ってもらうことで次につながる

要請行動をきっかけに全国の看護学生が学校をこえてつながった。

これまでの看護学生の要請行動と活動

2022.6.6 看護職を目指す学生への緊急支援給付金の制度継続・拡充と看護師等要請所への補助金を求める要請 リモート要請行動（看護学校事務長・副校長他）

2022.6.22 看護学生WEB会議 看護学生実態調査に関する意見交換
全国の看護学生 40 名が参加 共立高等看護学院 2 年生 2 名参加

2022.7.25 看護学生WEB会議 看護学生との合同作戦会議
7/29に向けた要請行動の訴えの録画

2022.7.29 厚労省・文科省オンライン要請行動
「看護職を目指す学生への緊急給付金の制度継続・拡充と2023年実施医療職国家試験においてコロナ陽性者への追試を求める要請」
全国の看護学生が録画で発言 共立高等看護学院3年生 2 名発言

2022.11.30 厚労省・文科省要請行動・記者発表
「看護学生への支援給付支給とコロナ陽性者へ国試追試要請」
全国の看護学生が録画で発言 共立高等看護学院3年生発言



①コロナ禍、看護学生として多くの困難を乗り越えてきている

実習が短期間になったり、中止になる中で学んでいる

本当はもっと患者さんのところで学びたい

看護学生は生活が制限、行事なども中止

②コロナ禍、看護学生はアルバイトができないことによって経済的に困難な状況にあること

収入減に加えて物価高騰で交通費が更にかさむ

実習がない時はアルバイトを掛け持ちで深夜まで働かなければならない看護学生

③看護師国家試験で追試験をしてほしいこと

国家試験だけでなく、感染しないか2重の不安を抱えている

全国的な感染拡大で個人の努力だけではどうすることもできない

家族内感染しないための徹底した感染対策の実例

追試験がないのは理不尽である

3年間追試の要請をしているのに準備されていないことへの疑問

看護学生の要請行動・マスクミへの訴え

受験生「人生設計狂う」

県内 救済措置求める声



オンライン取材で「国家試験の追試がないのは不合理だ」と語る、共立高等看護学院の小平守莉さん（右）と横田美和さん

「これだけ対策しても感奮してしまふことがあるのに」。

「看護師の国家試験を13日に控える共立高等看護学院（甲府市）3年の小寺莉奈さんは不安を口にした。母は外部からウイルスを奪ったまはなため約1週間前か付事休み、父は単身赴任先

只の「愛」たるは、權能
知者たり。權能云々權能
を以て過誤なり。却言爲
今も過誤なり。小島君に
要を問う作の法則
を論議し購求せんと
いふ。

小さは、花相の
と善き青雲志士
自他に、罪内深穢濁
臟腑劣る。然れ、朕を
けられん。在存因爲
取酒と云ふ。大才氣
も國試難く難人の主
左右するに、向ふ事
試験め、國試難く
遺散ぬはむかひと
要急め。

「因で感荷が端
ていの不安だ」とい
ゐるのは、三権増進和

類曰「ウル、醫、醫師、醫師の試験を常に受験する
試、厚料動行法、針灸といふが分つた。會中
に試験を受ける期間の生かすの聲がなり、大分は試験の
結果を待つてゐたに、醫、大分計程のはかりでない。を
演説されてゐたに、醫、大分計程のはかりでない。を
調、羅孝蘭等は「三丁の夢」を起りながら、大分事を起す
直にヤシをまきの味、果てとして、大分機を確求めたい。

富強

医師・看護師試験 コロナ追試なし

へん。新口盛盛班
大に從者君確保重要
と之中、とよまない
理申試験者のれびの
は連大と價。
幼稚園未ながか
けて、人のけならに
看護師とををきき
入植主人、学校は年生
にひ。盛盛の、盛盛
の盛盛は人の最
頭が盛盛とをかと
状況と指摘、こ
は金の響きと愛
奇麗に思がれた
い、「二口に盛盛
が試験、年先はに
のほまにも重
試を実施求めた。

の始めからオンライン授業が
り組んでいるという。河

2022.2.4 山梨日日新聞 地元の新聞で

看護学生の要請行動・マスクミへの訴え

受験と感染 二重のストレス

国家試験に臨む看護学生ら

「追試で救済を」国に訴え

[illegible]

新型
コ口

2022.2.5朝日新聞 朝刊

看護師試験「救済策を」

く中、甲府市の看護学校が「**立高等看護学院**」が、看護師の受験生に陽性が判明すれば試験の受験ができず、大学受験と違い、就職がためたためた。看護師試験は18日に全国一斉に予定されていた。

「コロナになったら、看護師をめざさざる3年間やっていたか」と無になる「感染しないか」がずっと不安を感じています」

立高等看護学院3年の天川真帆さんは、自宅に「もった状態で試験の準備をすすめる。家族から感染を避けるため、常にアルコール消毒を欠かさない。

共立高等看護学院は、感染予防のため1月31日から3年生を自宅学習に切り替えた。家族の感染が判明して濃厚接触者になった学生も出ており、昨年の受験シーズンより緊張度は格段に高まっている。

＜河西光子副学長は説明す＞

コロナ感染時の追試 看護学校が要望

看護実習に臨む1年生の頃の天川さん(中央)。2年生からは常にマスクをつける学校生活になった。

厚労省「難しい」を設けてほしい」と訴える。厚労省医事課試験免許室の担当者らは「心身不調による追試は過去に実施したことがない」と断る。大学受験と違い資格試験のため、年一回の本試験と同等の質や量を担保したものを難し（急に）用意するのは難し（急に）と話している。（永沼仁）

[illegible]

2022.2.8朝日新聞 夕刊

学校も一緒に要請行動

医師・看護師
介護福祉士等

国家試験に追試を

山梨民医連、勤医協、共立高看が県に要請



▲県へ要請。写真右から、遠藤、浅川、河西、関本の各氏。

エッセンシャル・ワーク志す学生に支援を

山梨県医連(平田委員長)、山梨勤医協(森谷眞理理事長)、扶高看護学院(内藤恵一学院長)は2月10日に山梨県を訪れ、長崎幹事本知事等に、「医師・看護士等」の救済措置を求める緊急の申し入れを行なひました。

申し入れたのは、「天候災害」とも受ける新型「コロナウィルス」感染症を先だ回避することは、医療生や介護学生等の個々の生活では不可能ですと強く訴へられました。そして、「コロナ感染より国統試験」の受験を失ひ、医師や看護師等として働くことが出来なれば、医療や介護場などに人員不足を来出することに、負々不足を来出するに、いづつ一医療介護(ハーフエッセンシャル)が参加しました。

申し入れたには、県衛生課、山梨県医師会、山梨県看護協会、山梨県看護協議会、山梨県看護事務局長、共同看護センターから西沢孝子副学長、浅川雄一事務員が参加しました。

山梨民医連新聞2022.3月号

学校ホームページでの訴え

2022年1月27日（木）TBSニュース23、1月29日（土）日本経済新聞、2月4日（金）山梨日日新聞、2月5日（土）朝日新聞にて、本校が取り上げられました。

全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大が続いていますが、看護師国家試験は受験者が陽性者になってしまうと追試験がありません。

現在受験を控えている学生たちは、国家試験への不安と自分が感染しないかという不安を抱えながら、最後の追い込みを頑張っています。

多くの方々に看護学生の実態を知っていただき、追試験の実施を前向きに検討してもらえるようお願いしていきたくと思います。
いよいよ今週末2月13日（日）が、国家試験当日となります。

看護学生の要請行動・マスコミへの訴えを共有



要請文・要請行動・新聞記事などマスコミに訴えた内容は学内の一番目立つ場所に掲示

学生達は足をとめて読む光景も

教務室前の掲示板

要請行動・マスコミへの訴えを通しての反響

高校進路指導室へ要請行動をした学生報告すると・・・

人前でそのようなことをする学生ではなかった。
凄いですねー

クラス担任をしていたが、
おとなしい学生であったが
すごいですね！
ぜひ新聞記事をみたい



報告した2校より推薦入試・一般入試の受験者が増加



看護学校入学後の学生の成長
共立高看の教育へ信頼

看護学生の要請行動・マスコミへの訴えたことで反響

県外の民医連外の
看護養成所から賛
同のメール

県外のある医師会の看護学校の教務主任より賛同の電話
その後、同学校はホームページに看護師国家試験の追試を
求める意思表示を学校長名で掲載した！



- ・ 全国に訴えが届いているという手ごたえ
- ・ 発信しなければ賛同してくれる人がいる事も知らなかった
- ・ 行動することの意義！

看護学生の要請行動で前進したこと（看護師国家試験）

3年間訴え続け、看護師国家試験の追試験は叶わなかったが・・・

長崎知事 医療国家試験で要請

感染者に追試機会を

関東知事会

関東地方知事会（会長・川勝平太静岡県知事）は18日、国への予算と施策に関する提案・要望を決議した。長崎幸太郎知事は、医師や看護師など医療関係職種为国家試験の受験生が新型コロナウイルスに感染した場合、追試などで受験機会を確保することを提言した。

知事会は山梨、東京、神奈川など10都県の知事がメンバーで、この日はウェブ会議を実施。長崎知事は昨年度の医療関係職種の国家試験を巡り、新型コロナウイルスに感染した受験生の救済措置がなかったことを問題視。受験機会を確保することは「受験生にとって

も、地域医療システムの維持にとっても重要だ」と訴えた。2014年に県内が大雪に見舞われ看護師国家試験を受けられなかった受験生がいた際には追試が行われたことを例に挙げ、新型コロナウイルス感染者についても追試などで受験できるように求めた。

提案・要望の決議には10都県の共同提案2項目と各都県の10項目が盛り込まれた。決議は今後、各省庁などに提出する。

〈横内史貴〉

2022.5.19
山梨日日新聞

新型コロナウイルスに感染した受験生の受験機会確保を求める長崎幸太郎知事＝山梨県東京事務所

長崎山梨県知事が関東知事会で新型コロナウイルス感染者についても追試などを受験できるよう、求め提案・要望に盛り込まれ各省庁に提出された。

要請行動で前進したこと（学生支援給付金）

- ① 2020年5月「学生等の学びを継続するための緊急給付金」
対象：課税世帯10万、非課税世帯20万

共立高等看護学院の学生 38名 440万円が支給された

2021年12月1日

文科省・厚労省 コロナ禍で看護職を目指す学生へ支援給付金復活を求める要請

- ② 2021年1月「学生支援緊急給付金」

1月1次・2次まで支給されいたが3月まで延長し3次・4次まで支給された

共立高等看護学院の学生 106名 1060万円が支給された

要請行動・マスコミへの訴えを通して学生達の変化

はじめは・・・

はじめは 訴えを言葉にしてみるよういうと遠慮がちな訴えであった学生たち
怒りやつらさなど自分たちの置かれている状況を認識することも弱かった学生たち

コロナ禍だし大変なのは自分だけでない、皆大変

国家試験の追試がないから大変だ

アルバイトできないのは仕方ない・・・コロナ禍だし・・・

感染しないようにしないと・・・

それってみんなのせいではないよ・・・
それっておかしくない？

苦しいことを
声にしろー
(甲州弁)

もっと怒れしー
(甲州弁)

教員の言葉が学生の
本音を引き出す

要請行動・マスコミの取材、看護学生の交流を通して

3年間の要請行動の取り組みの中で本校の学生の変化

- ◆先輩達がやってきたから、次は自分達がやる番・・（継承）
- ◆ひとりだと言えないことも皆で（要請文を）考えた。皆の声だから自信をもって訴えられた（仲間と取り組むことが力）
- ◆困っているのに国は何もしてくれない。理不尽だ（怒り）
- ◆自分達に訴えさせてほしい！（自ら名のり出る学生）
- ◆全国の看護学生の発言をきいて、皆すごい、自分達よりもすごい・・（憧れ、刺激）
- ◆同じように思っていた人がこんなにいる（つながりの実感）
- ◆自分は人前に意見をいうのは苦手だったけど、バイト先の人から「新聞見たよ」と言われた（自信）

看護学生の要請行動 まとめ

- ◆学生は身近で（自分に）おこっている苦しさ、大変さは、仕方がないことではない！と気づけた
- ◆自分の言葉で要求を伝えることができた主権者（当事者）としての経験
- ◆自分達の声を世の中に（社会）に訴えることができた自信
- ◆全国に同じように考えている仲間の存在を実感

入学前の学生達は周囲に合わせ、できるだけ目立たず、主張することは抑えてきた学生も多い。そのような中で社会に向けて、自分達の考えを発信することは勇気が必要なことである。その学生達が、看護学生の立場で、世の中に発信できたことの意味は大きい。本校の学生は、入学後の授業で貧困の実態や社会の矛盾などを目の当たりにする。そして「署名活動が必要だ」「世の中に人に広く訴える必要がある」と必要性に気づくことができて、社会の変革に向けて実際に行動にかえていく経験はない。今回の要請行動は、頑張っているのに報われない自分たちの苦しさや理不尽さを自分の言葉で社会に伝えることができた。世の中に訴えたことが、すぐに叶わないことがあるかもしれないが、訴えることで世の中の人々が反応したり、反響があることを経験を通して学ぶことができた。

そして私たち教職員も学生達と要請行動に取り組むことで、普段みることのない学生達の力強い訴えに多くの勇気をもらった。私たちは学生とともに学ぶ、学生のもっている力を信じることを学んだ。当事者（学生）の声は世の中を反響させる力をもっている。

学生の秘めた力は無限

学生の自治の力をつける

自治会活動・行事での民主的運営を支援

社会の動き学ぶ（事実を知る）・・・学習会

要求を実現する体験（学校と懇談会の定着）

自分たちの学ぶ環境、身近なところから更に良くしていく、不自由なことを声にして学校と交渉する体験

要請行動の取り組みを継続（継承）

全国の民医連の看護学校の学生が当たり前につながる

